

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科： 国語 科目： 現代の国語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：砂田） （2組：砂田） （3組：神谷） （4組：神谷） （5組：神谷） （6組：砂田）

使用教科書：（ 高等学校 現代の国語 第一学習社 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】

社会生活に必要な我が国の言葉について、その資質を理解し、適切に用いることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

社会生活に必要な他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持つ。また生涯にわたり国語を尊重し、その能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に着けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
「本当の自分」幻想（平野啓一郎） 【知識及び技能】 ・本文中の常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」を用いて、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・自己と他者に関する筆者の主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握する。 ・積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、読み手に伝わりやすくなるよう表現の仕方を工夫して書く。	・指導事項 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉えることで要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠を明確に示す。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、推論など、情報の持つ関係性を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色を理解している。 ・主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・自己と他者に関する筆者の主張に説得力を持たせるための論の展開について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握しようとしている。 ・積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書こうとしている。		○	○	8
水の東西（山崎正和） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。	・指導事項 ・洋の東西の対比を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じるという叙述の方法を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。				【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理				

1 学期	・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」を用いて、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・洋の東西の対比を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて、本文中以外の題材を積極的に探し、表現の仕方を工夫して説明しようとする。	・文章に含まれている情報を関係づけてながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が読み手に的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・洋の東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・一人1台端末の活用	○	○	解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。	○	○	8
	定期考査					○	○	1
	羅生門（芥川龍之介） 【知識及び技能】 ・登場人物の心情を様々な描写に注目して読み取る。 ・文中の表現の表現効果について理解する。【思考力、判断力、表現力等】 ・「下人」が盗人になるまでの考えを整理し、言語化して表現する。 ・老婆の弁明を自身はどのように捉えるかを考え、現代の倫理観と照らし合わせて説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・下人の心情の推移について順序だって読むことができる。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとする。	・指導事項 ・「からす」や「きりぎりす」についての言及がもたらす表現効果について理解する。 ・下人の心理について、単に盗人と飢え死にの間で迷っていたのではなく、そこにあった様々な「勇気」について解釈する。 ・下人の善悪の判断が「合理的」ではないことを認識させ、下人の行動が正義感だけによるものではないということを理解させる。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、説明の仕方を工夫する。 ・老婆の自己正当化の論理を理解し、自分の意見や考えを論述する。 ・読み取ったことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…羅生門 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識及び技能】 ・登場人物の心情を様々な描写によって読み取り、理解している。 ・文中の語句の表現効果について考えられている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・老婆の弁明を自身はどのように捉えるかを考え、現代の倫理観と照らし合わせて説明できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・下人の心情の推移について順序だって読むことができている。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしている。	○	○	8
	話し方の工夫 【知識及び技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解する。	・指導事項 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解する。			【知識及び技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辭的な叙述方法と、直接的な述べ方について理解し使っている。			

	について理解し使用する。 ・ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使用する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとする。 ・ 積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとする。 ・ 積極的に婉曲的な表現を用い、学習課題に沿って使おうとする。 ・ 積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとする。	・ 教材…話し方の工夫 ・ 一人1台端末の活用 等	○			る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 話し言葉の特徴を踏まえて話すなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。 ・ 積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。 ・ 積極的に婉曲的な表現を用い、学習課題に沿って使おうとしている。 ・ 積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。	○			6
定期考査							○	○		1
書き方の基礎レッスン	・ 指導事項 ・ 表記・表現の基本ルールを理解する。 ・ 接続表現の種類や用法を理解する。 ・ 比喩などの表現技法を理解する。 ・ 教材…書き方の基礎レッスン ・ 一人1台端末の活用 等		○			【知識及び技能】 ・ 書き言葉の特徴や役割を踏まえ、正確で分かりやすい表現について理解を深め、実際に書くことができる。 ・ 比喩、例示、言い換えなどの修辞について理解し、正しく使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 読み手に伝わるよう、論理の展開、情報の分量を考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・ 自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方、表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書こうとしている。 ・ 接続表現の種類や用法を理解し、適切な接続表現を選ぼうとしている。 ・ 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけようとしている。	○			8
定期考査							○	○		1
現代の「世論操作」 （林香里）	・ 指導事項 ・ 情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。 ・ 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。					【知識及び技能】 ・ 本文中に登場する常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・ 主張と論拠、具体的な情報と抽象的な情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。				

2 学 期	・主張と論拠、具体的な情報と抽象的な情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。	・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えが聞き手に的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 ・情報やメディアの現状について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・一人1台端末の活用			【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。	○	○	○	8
	スピーチで自分を伝える 【知識及び技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使用する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集して、伝える内容を検討する。 ・自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。 ・話し言葉の特徴を踏まえて話し、相手の理解が得られるよう表現を工夫する。 ・話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を相互評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げ深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行う。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとする。 ・積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価する。	・指導事項 ・自分の意見を聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 ・他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。 ・一人1台端末の活用	○		【知識及び技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集して、伝える内容を吟味している。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 ・話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を相互評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 ・積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価しようとしている。	○			6
	定期考査					○	○		1
	フェアな競争（内田樹） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。	・指導事項 ・筆者が自説を述べるための論理を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に			【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理				

3 学 期	・主張と論拠、具体的な情報と抽象的な情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」を用いて、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・筆者が自説を述べるための論理を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝える。 ・本文で示された哲学者の事績について調べ、内容との関わりがわかるようにまとめる。	- 関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・現代の社会や政治について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、具体と抽象など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・一人1台端末の活用			- 解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・筆者が自説を述べるための論理を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝えようとしている。 ・本文で示された哲学者の事績について粘り強く調べ、内容との関わりがわかるようにまとめている。	○	○	9
	実用的な手紙文の書き方 【知識及び技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解を深めた上で実際に使用する。 ・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について学習し、それらを理解したうえで活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・読み手の理解が得られるよう、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫する。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫する。 ・目的や意図に応じて書かれているかなどを推敲し、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直す。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に依頼文や案内文を書く。 ・書いた手紙文を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫する。	・指導事項 ・実用的な手紙文として、依頼文と案内文の書き方を理解し、実践する。 ・相手に情報を適切に伝える文章の書き方を習得する。 ・一人1台端末の活用		○	【知識及び技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解を深め使っている。 ・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解した上で活用できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・読み手の理解が得られるよう、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、説明の仕方を工夫するとともに、表現方法にも工夫を加えている。 ・目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に依頼文や案内文を書こうとしている。 ・書いた手紙文を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとしている。	○	○	4
	定期考査					○	○	1